工房「夢来夢来」

かわらばん

第 22 号 平成 15 年 11 月発行

文化刺繍 「富士とさくら」

狭山市狭山台4-25 狭山台南小学校内 デイサービススポット工房「夢来夢来」

Tel. /Fax. 042-956-5364

発行責任者 吉田 幸子

E-mail:id3a-nkt@asahi-net.or.jp

http://www.ne.jp/asahi/muku/muku/

工房 夢来夢来を見学して

立教大学 福祉学科3年 清水有紀子

社協のハンディキャブに乗せてもらって、2名の車いすの方と一緒に夢来夢来に来ました。 ハンディキャブに乗れるのは車いすの方のみで、視覚障害の方は来るのに苦労していると 聞きました。

空き教室3部屋を使っていると知らなかったので、隣りの部屋へ行くとパソコンをやっていて 画期的!と思いました。

点字で出来るパソコンを初めて見ました。

変換した文字を音声で教えてくれるのですが、音が小さいという問題を実際に使っている方の横に立って感じました。

小学生が寄付する牛乳パックの椅子は、とても牛乳パックで出来ているとは思えないほど丈夫で、 立派なものでした。

ここでは6つのメニューがあるそうで、皆さん、それぞれの仕事を熱心にやっていました。 各自好きな作業をしているから夢中になれるのだろうと思いました。

ボランティアの方、障害者の方、一緒になって、出来る人が考えながら進めていました。 機織等は先生もいらしゃるらしいですが、、視覚障害者の方がやっていると聞いて、すごいなと 驚きました。

お昼は3部屋から皆が集合して丸く囲んで楽しくいただきました。手作りのカレーは、とてもおいしかったです。午後も、わき合い合いと作業を続けました。

仕上がった文化刺繍がいくつか前に飾られてあり、週 1~3 回なので1つの作品が出来上がるのに時間がかかるそうですが作られた方は満足そうに話してくれました。

出来上がるのは楽しみだろうし、自信にもなるだろうと思いました。

夢来夢来がふつうの作業所として違うというのは知っていましたが在宅障害者サービススポット という名称は初耳でした。

雰囲気の良い所で、市がお金を出して、もっとこういう工房を増やしていけたらなと思いました。 ただのデイサービスよりリハビリになりそうだし、作品を「アミー」で売ったりバザーに出したり と、やりがいがあって、自立支援、社会参加促進という面で、とてもいいと思いました。

楽しくて、あっという間の一日でした。ありがとうございました。

* 先日工房夢来夢来に福祉学科の学生が2人現場研修にきました。 そのうちの1人清水有紀子さんに、その時の感想文を書いてもらいました。

工房 夢来夢来に通所して

中村 友樹

2000 年夏にウイルス性脳炎を患い、幸い一命は取り留めましたが、記憶喪失をはじめ、様々な後遺症を残していまい、高次脳機能障害状態となってしまいました。

社会復帰もまるでできない状態で、何をするでもなく、また、何をすればよいのか、何ができるのか、又、何がしたいのかすら、そして何より一体自分は何処から来た何者で、この後どうなろうとしているのかまるで分からず、ある日突然、出口の無い迷路に投込まれたかの如き精神状態のまま丸々二年程過ぎた頃に、これ程まで何もしないで居る状態からくる自己無価値感、実存的空慮感に逆に精神的に耐えられなくなり、何か自分のような障害者を受け入れ、何らかの作業等を通じ社会参加のきっかけになるようなことでもさせていただけるような施設が無いかと思い、市役所、社会福祉協議会を訪れたところ、社会福祉協議会の方で紹介して頂いた幾つかの作業所の中からこちらの夢来夢来を選定し、2002年8月より通所させて頂いております。

こちらでは現在、使用済みの牛乳パックを使った椅子造りに参加させて頂いております。

まだ自分から能動的、創造的に動ける状態ではありませんが、強制的に動かされることの決して無い和やかな雰囲気の中で、ボランティアの方々の支えの下、自分なりにできる事をやらせて頂いている状況です。

こちらでの作業を始め、老若男女の障害者やボランティアの方々との接触等を通し、何らかの 社会性等を身に付け、自分なりに少しでも自信を持てる様になればと考えております。

実際、定期的に通う場所ができたということからくる帰属性の様なものを 在的にも、又、恐らくそれ以上に 在的な部分でも感じ、精神的にも大きな支えとなっているのではないかと考えております。

この用な作業所が、今後更に広く認知されていき、障害者をはじめ、物理的、心理的に御自分の居場所を探されている方等が、こちらでの作業を通し、仲間作りをしつつ、更に、共に様々な作品を創造する達成感を共有することができる様な空間として末永く提供されていくことを願っております。

狭山台南小学校の運動会の見学をして・・・

去る9月24日の水曜日に狭山台南小学校の運動会が行われました。

本当は前の週の9月20日の土曜日に行う予定でしたが、雨が降ったので延期になりました。

私は、毎年、狭山台南小学校の運動会には見学させてもらっています。

いつもは土曜日なので私 1 人で見学でしたが、今年は水曜日でしたので、夢来夢来の皆さんにも窓から見学してもらえた事が良かったです。子供たちにとっては、曇りで寒かったし、ふだんの日でしたので、お父さんも仕事でこれない人も多く、かわいそうでした。 中田 亜由美

☆ ご寄贈・ご寄付 ありがとうございました。

様 バザー品 衣類 • 西川

ゆかた ショップみちくさ様

妙 子様 • 寺 杣 着物

阿久津 昭 子 様 綿

ネクタイ ふとんカバー - 神田 様

• 中村 修様 現金

- 阿部 陽子 様 B4用紙

赤十字奉仕団

伊藤 様 着物

石渡 様 服地

• 福 井 様 毛糸

- 紫藤 三恵子 様 果物の缶詰

•中 村 ちか子 様 布糸

•三 隅 亨•美代 様 布・糸

ネクタイ チロリアンテープ · 岩 野 益子 様

・ショップみちくさ 様 男物 着物

望月久子様端切れ

・新 井 工 務 店 様 ひのき

高橋 三郎 様 現金奥富 敦子 様 ネクタイ 額

(編集後記)

今年の夏は梅雨が明けても、なかなか暑くならずに、9月に入って熱い日が続きましたが、皆様 お元気ですか。

校庭では生徒さんたちが元気に走りまわっており、私たちも生徒さんたちの元気な姿に励まされて います。

当施設も今年で9年目を迎え、7月の大掃除をきっかけに室内の整理整頓をし、とてもすっきりか たずき、一同新たにそれぞれの活動に励んでおります。

在宅障害者が喜んで集える場所として、ボランティアと障害者が一丸となって活動しています。 これからもどうぞ宜しくお願致します。

吉田幸子

